

① 増大する保育ニーズへの対応

札幌市では、就学前児童数が減少しているにもかかわらず、保育所への入所を希望する児童は増加しています。

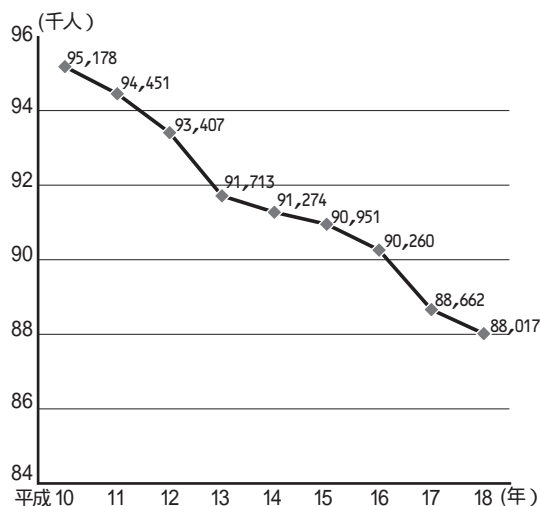
この増大する保育ニーズに対応するために、平成15年度に実施した次世代育成支援に関するニーズ調査結果に基づいて、当初、平成21年度における通常保育事業のニーズ量を16,734人と推計し、平成16年度から18年度までの3年間で1,530人の定員増を計画しました。

この計画に基づき、国庫補助を活用した認可保育所の新設や既存施設の増改築、また市単独事業による認可保育所移行促進事業により、積極的な保育所の定員拡充に努めてきた結果、平成19年4月の保育所定員は16,760人となる見込みです。

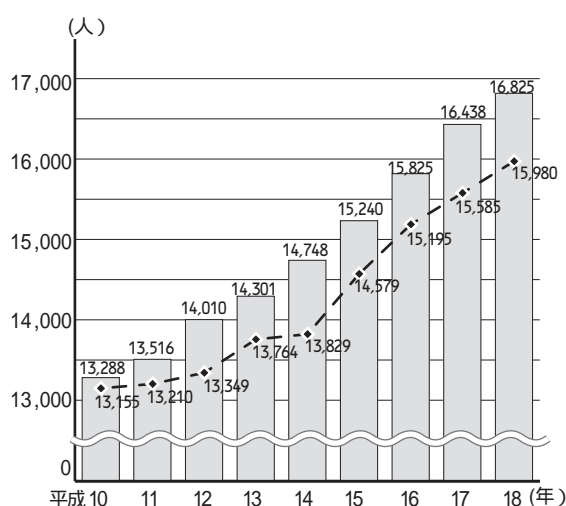
しかしながら、平成18年4月における保育所のニーズ量が予想を上回る16,825人となっており、今後もさらにニーズ量が増加していくと予測され、平成22年4月における保育ニーズ量は17,550人程度と推計しています。

このことから、引き続き保育所整備による定員増が不可欠な状況であり、平成22年4月における待機児童と超過入所の解消を目指し、平成19年度から21年度までの3年間でさらに800人程度の定員増を図るとともに、保育環境の改善に努めます。

就学前児童数の推移(各年4月)



要保育児童数及び定員の推移(各年4月)



個別事業

認可保育所整備事業 子育て支援部

新設、改築、認可保育所への移行等により、認可保育所を整備する。

【保育所定員数】平成16年度(4月)：15,195人 [平成19年度(4月)：16,760人(予定)]

▶ 平成22年度：17,550人程度